

# 2020年12月期 決算説明資料

協和キリン株式会社

The logo for Kyowa Kirin, featuring a stylized 'K' inside a circle followed by the text 'YOWA KIRIN' in a bold, sans-serif font. The logo is positioned on an orange semi-circular background that curves upwards from the bottom right corner of the page.

**KYOWA KIRIN**

## アジェンダ

2020年度財務レビュー & 2021年度業績予想  
株主還元策について  
R&Dレビュー  
ビジネスピックアップ

代表取締役社長 宮本昌志

## Q&A

代表取締役社長 宮本昌志  
執行役員 財務経理部長 川口元彦  
執行役員 研究開発本部長 鳥居義史  
執行役員 製品戦略企画部長 須藤友浩

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画など、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報や予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料は、投資家の皆様に向けて情報を提供することを目的としたものであり、内容には医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

# 2020年度財務レビュー & 2021年度業績予想

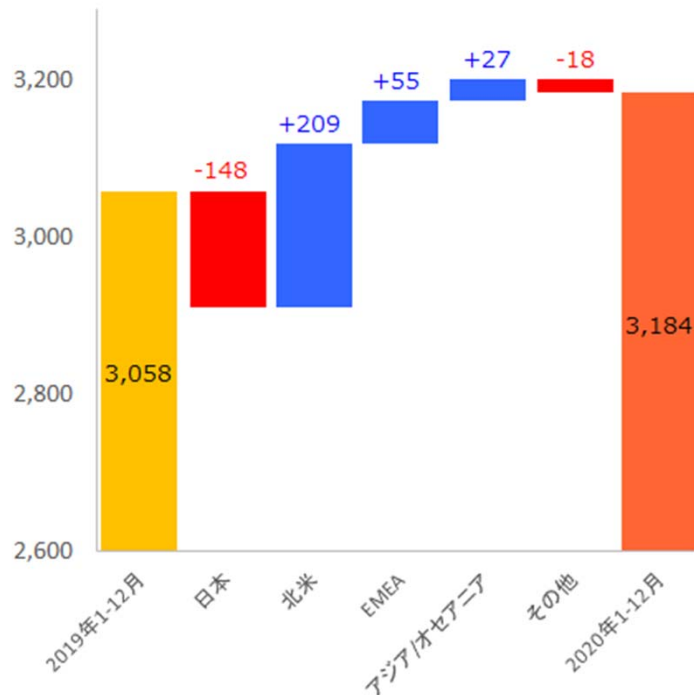
# 決算・業績予想サマリー

(単位は億円、単位未満四捨五入)

	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2020年 予想	達成率	2021年 予想	前年比
売上収益 [海外売上比率]	3,058 [39%]	3,184 [48%]	+125 (+4%)	3,130 [47%]	102%	3,510 [54%]	+326 (+10%)
売上総利益 [売上総利益率]	2,262 [74%]	2,379 [75%]	+117 (+5%)	2,360 [75%]	101%	2,700 [77%]	+321 (+13%)
コア営業利益 [コア営業利益率]	594 [19%]	600 [19%]	+6 (+1%)	600 [19%]	100%	650 [19%]	+50 (+8%)
継続事業からの 当期利益	377	470	+94 (+25%)	440	107%		
非継続事業からの 当期利益	294	—	-294 (-)	—	—		
当期利益	671	470	-201 (-30%)	440	107%	500	+30 (+6%)

# 2019実績vs2020実績 ～売上収益～

**売上収益 +125億円**  
(うち為替 -29億円)



## ● 日本 -148億円

新発売のクリスピータに加え、ロミプレート(適応拡大)・リツキシマブBS(市場浸透)・ジールスタ(市場拡大)が引き続き伸長。一方、ネスブ(AGへの切り替え)やパタノール・アレロック(花粉飛散量減少)が大きく減収。加えて、2019年10月・2020年4月の薬価改定やコロナによる減収影響あり。

## ● 北米 +209億円 (うち為替-9億円)

2018年発売のCrysvitaが引き続き順調に成長。また、2019年に発売したNouriazも増収に貢献。Poteligeoはコロナ影響を受け前年並み。

## ● EMEA +55億円 (うち為替-11億円)

2018年発売のCrysvita(EAP含む)が引き続き順調に成長(9月に青少年・成人へ適応拡大)。Poteligeoもドイツ等で販売開始し増収。一方、後発品の登場によりAbstralは減収。

## ● アジア/オセアニア +27億円 (うち為替-5億円)

引き続き中国のRegparaが好調に進捗。

## ● その他 -18億円 (うち為替-4億円)

ファセンラ(ベンラリズムブ)の売上ロイヤルティは順調に増加も、FKB関連の技術収入、受託製造売上、輸出売上等が減少。

# 主要アイテムの売上収益(日本)

(単位は億円、単位未満四捨五入)

製品名など	2019年実績		2020年実績		増減要因	2021年予想		増減要因
	2019年実績	2020年実績	前年比	増減要因		2021年予想	前年比	
ネスブ+AG*	476	295	-181 (-38%)	ネスブAG 2019.8発売・ バイオシミラー影響	232	-63 (-21%)	バイオシミラー影響 ・薬価改定影響	
ネスブ	336	44	-293 (-87%)		38	-6 (-13%)		
ネスブAG	140	252	+112 (+80%)		194	-58 (-23%)		
ダブブロック	—	6	+6 (—)	2020.8発売	40	+34 (+593%)	市場浸透	
レグバラ	65	38	-27 (-41%)	オルケディアへの切替	20	-18 (-48%)	オルケディアへの切替	
オルケディア	69	91	+22 (+31%)	レグバラからの切替	104	+13 (+14%)	レグバラからの切替	
ジーラスタ	246	267	+21 (+8%)	市場拡大	298	+31 (+12%)	市場拡大	
ポテリジオ	20	21	+1 (+6%)		20	-1 (-5%)		
リツキシマブBS	97	118	+21 (+22%)	市場浸透	115	-3 (-2%)	薬価改定影響	
ロミプレート	49	76	+28 (+57%)	2019.6適応拡大	87	+11 (+15%)	市場浸透	
アレロック	108	86	-22 (-21%)	花粉減・コロナ影響	68	-18 (-21%)	競合品影響	
パタノール	136	106	-30 (-22%)	花粉減・コロナ影響	109	+3 (+3%)		
ノウリアスト	97	94	-4 (-4%)	コロナ・競合品影響	91	-3 (-3%)	競合品影響	
ハルロピ	1	9	+8 (+878%)	2019.12発売	46	+36 (+402%)	市場浸透	
クリースビータ	1	38	+37 (—)	2019.12発売	55	+17 (+46%)	市場浸透	
技術収入	46	20	-26 (-57%)	FKB関連	25	+5 (+23%)		

\* 正式名はダルベポエチンアルファ注シリンジ「KKF」。製造販売元：協和キリンフロンティア株式会社、販売元：協和キリン株式会社。

# 主要アイテムの売上収益(海外)

(単位は億円、単位未満四捨五入)

製品名など	2019年実績		2020年実績		前年比	増減要因	2021年予想		前年比	増減要因
Crysvita*1	325	544	+219 (+67%)	市場浸透・適応拡大 (米国TIO・欧州成人)		市場浸透・市場拡大	772	+228 (+42%)		
北米	251	424	+173 (+69%)							
EMEA	74	120	+46 (+61%)							
Poteligeo*2	108	115	+7 (+7%)	2020.6 ドイツで発売		市場浸透・市場拡大	173	+58 (+50%)		
Nourianz	1	26	+25 (-)	2019.10発売		市場浸透	67	+41 (+158%)		
Abstral	112	102	-10 (-9%)	後発品の上市		後発品影響	81	-21 (-21%)		
Regpara	50	83	+33 (+66%)	2018.10 中国NEDL*3収載		中国の好調	93	+10 (+12%)		
技術収入	133	175	+42 (+32%)	ベンタリズムマブの成長等		ベンタリズムマブの成長等	237	+62 (+35%)		
ベンタリズムマブロイヤルティ*4	89	110	+21 (+24%)							

\*1 上市国(2020年12月末現在、南米除く):

アメリカ、カナダ、ドイツ、オランダ、ルクセンブルク、イングランド、ウェールズ、北アイルランド、スロバキア、スウェーデン、イスラエル、UAE、チェコ、デンマーク、イタリア、ノルウェー、バーレーン、スコットランド、オマーン、クウェート、カタール、ルーマニア、スロベニア、フランス、スペイン

\*2 上市国(2020年12月末現在):

アメリカ、ドイツ、オーストリア、ルクセンブルク

\*3 National Essential Drug List

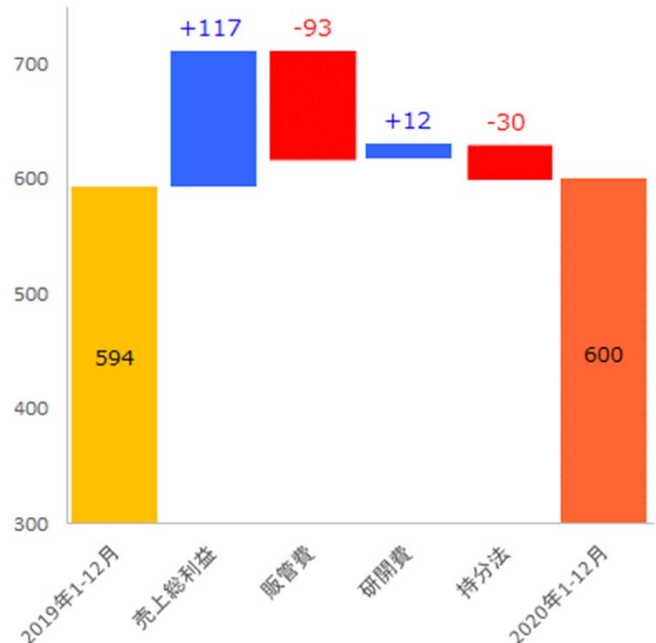
\*4 アストラゼネカ社が販売するファセンラの上ロイヤルティ(当社独自の見積りを含む)

\*5 上記の主要アイテムの売上収益には、Early Access Program(EAP)による収益は含めておりません。



# 2019vs2020対比分析 ～コア営業利益～

**コア営業利益 +6億円  
(うち為替 -13億円)**



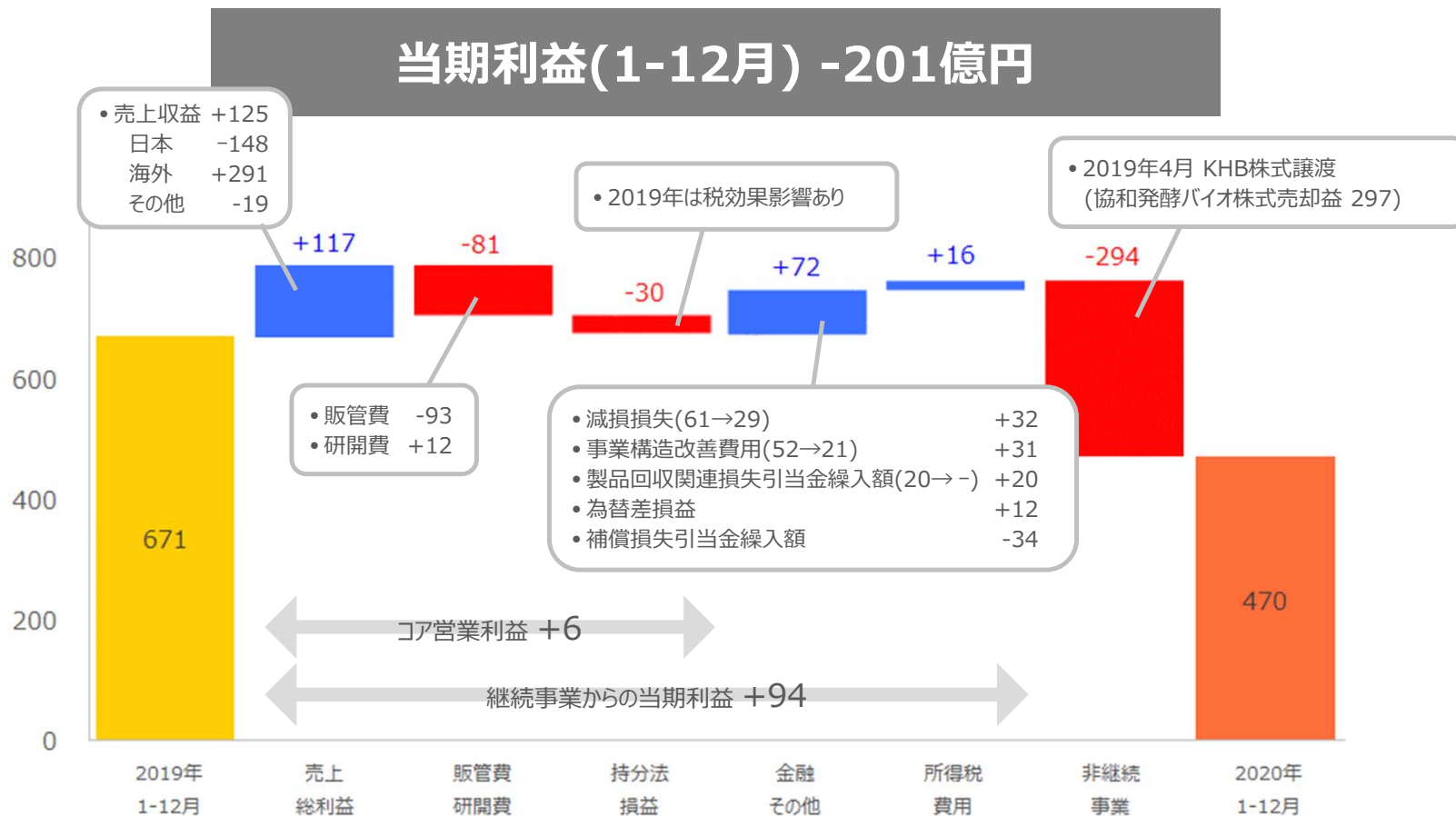
- **売上総利益 +117億円 (うち為替-26億円)**  
売上収益増加(+125億円)に伴う増益。売上総利益率は1%アップ(74%→75%)。

- **販売費及び一般管理費 -93億円 (うち為替+10億円)**  
欧米での販売費・上市準備費用が増加。 ※Crysvitaの北米プロフィットシェア費用を含む。

- **研究開発費 +12億円 (うち為替+3億円)**

- **持分法投資損益 -30億円**  
Hulio(FKB327・アダリムマブBS)の売上は順調に増加も、2019年は一過性の税効果影響(将来の課税所得に基づく繰延税金資産の認識)あり。

# 2019実績vs2020実績 ～当期利益～



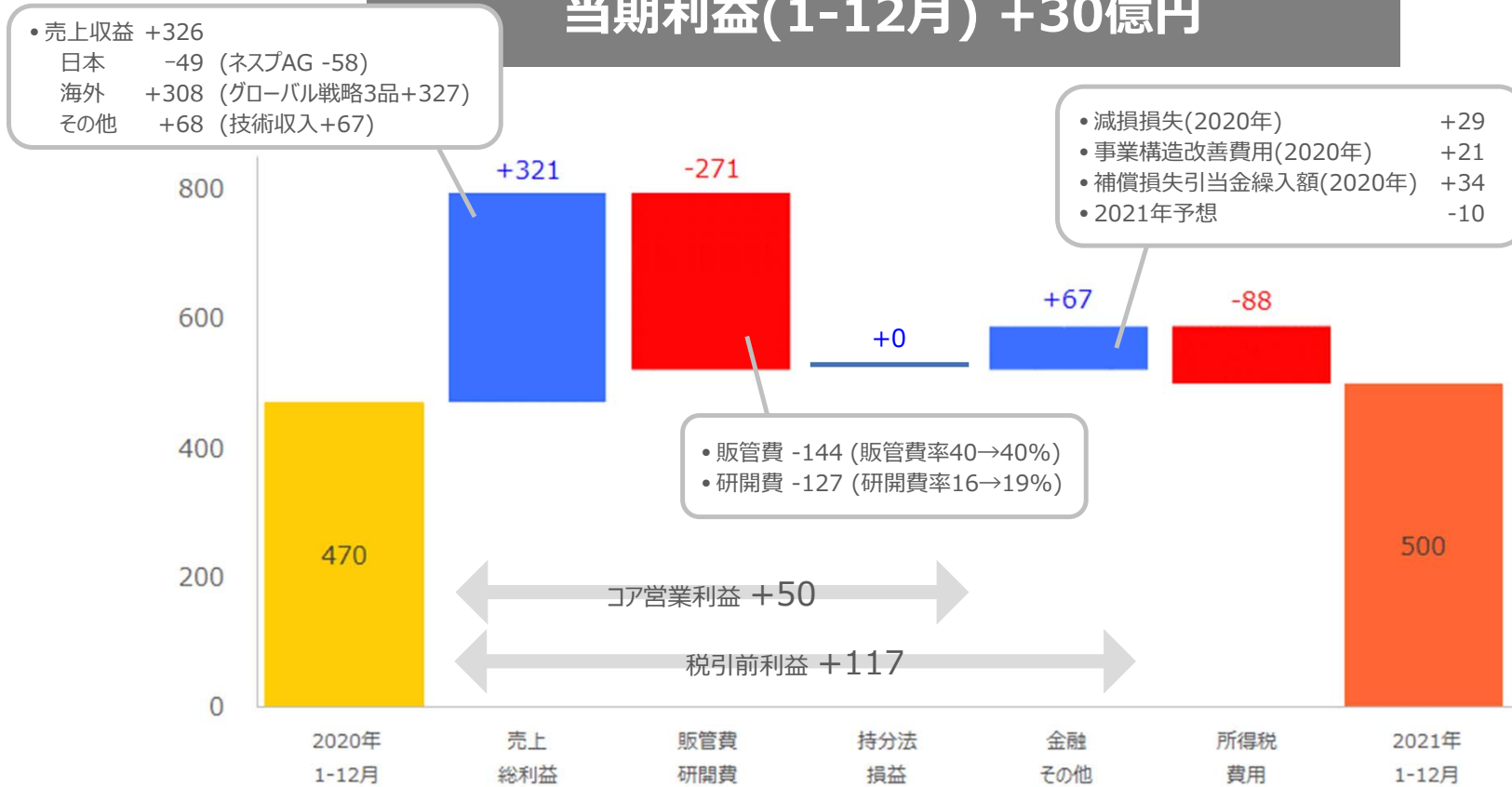
# 2021年業績予想

(単位は億円、単位未満四捨五入)

	2019年 実績	2020年 実績	2021年 予想	前年比
売上収益 [海外売上比率]	3,058 [39%]	3,184 [48%]	3,510 [54%]	+326 (+10%)
売上総利益 [売上総利益率]	2,262 [74%]	2,379 [75%]	2,700 [77%]	+321 (+13%)
販売費及び一般管理費 [販管費率]	1,173 [38%]	1,266 [40%]	1,410 [40%]	+144 (+11%)
研究開発費 [研究開発費率]	535 [17%]	523 [16%]	650 [19%]	+127 (+24%)
持分法投資損益	40	10	10	+0 (+4%)
コア営業利益 [コア営業利益率]	594 [19%]	600 [19%]	650 [19%]	+50 (+8%)
<b>当期利益</b>	<b>377</b> (継続事業のみ)	<b>470</b>	<b>500</b>	<b>+30 (+6%)</b>

# 2020実績vs2021予想 ～当期利益～

## 当期利益(1-12月) +30億円

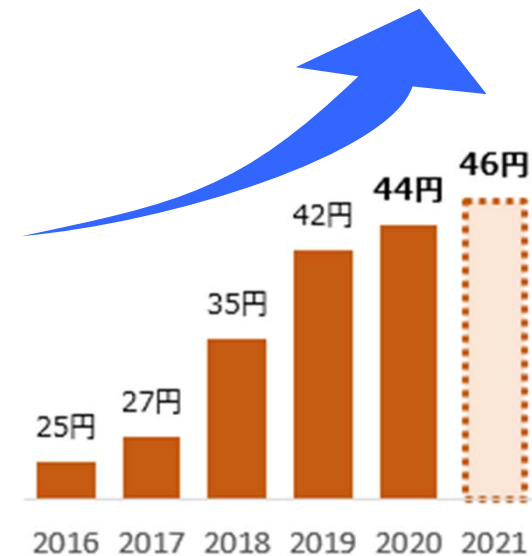


# 株主還元策について

# 株主還元策について

- ✓ 2020年度年間配当は**44円**、2021年度年間配当は**46円**(予定)
- ✓ 「GSPへの飛躍」を掲げた2016-2020年を通じて**連続増配**を達成
- ✓ 5か年平均配当性向は**39.7%** (40%を目処とする配当方針に対して)

年度	年間配当金 (円/株)		配当性向 <sup>*1</sup>	ROE <sup>*2</sup>	
	中間	期末			
2016	12.50	12.50	25.00	44.9%	5.3%
2017	12.50	14.50	27.00	34.4%	7.2%
2018	15.00	20.00	35.00	35.2%	8.6%
2019 <sup>*3</sup>	20.00	22.00	42.00	33.7%	10.1%
2020	22.00	22.00	44.00	50.3%	6.8%
2021(予定)	23.00	23.00	46.00	48.5%	7.0%



\*1 2021年の配当性向は、コアEPS (その他の収益/費用とそれらに係る税金影響を控除した当期利益「コア当期利益」を元に算出したEPS) に対する配当性向

\*2 Return On Equity (自己資本当期利益率)

\*3 2019年2月6日付で自己株式10,700千株(226億円)を取得、2019年の総還元性向は67.3%

# R&Dレビュー

## 2020年第4四半期のトピックス

- ME-401の低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫を対象としたフェーズ2試験の開始（日本:10月）
- KW-6356のパーキンソン病を対象としたフェーズ2b試験において主要評価項目を達成（日本:10月）
- KHK7791の血液透析施行中の高リン血症を対象とした国内フェーズ2試験データの発表（米国腎臓学会:10月）
- KRN23の腫瘍性骨軟化症を対象とした販売承認の申請（中国:10月）
- KHK4827の乾癬を適応症とした販売承認の取得（マレーシア:11月）、強直性脊椎炎およびX線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎を適応症とした一部変更承認の取得（日本:11月）
- KRN125（ジールスタ®）の自動投与デバイスに関する国内フェーズ1試験が完了  
→ テルモ株式会社と協力し、2021年第3四半期の製造販売承認申請を予定
- Axcelead社と革新的な低分子医薬品創出に関する協業を開始（日本:10月）
- InveniAI社とAI創薬技術による新規標的探索の協業を開始（日本:12月）



## 2021年1月以降のトピックス

- RTA 402 の常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)患者を対象とした国内フェーズ3試験の開始 (日本:1月)
- KRN23 のXLHを適応症とした販売承認の取得 (中国:1月)
- KRN23の腫瘍性骨軟化症を対象とした販売承認の申請 (欧州:1月)

# ビジネストピックス

## 2020年第4四半期以降のトピックス

- 高崎工場内に新たな品質棟(バイオ医薬品分析施設)を着工。投資額：約140億円の見込み (日本:10月)
- リツキシマブ<sup>®</sup>BS後天性血栓性血小板減少性紫斑病を対象とした効能効果ならびに用法用量に関する承認事項一部変更承認を取得 (日本:11月)
- クリースビータ<sup>®</sup>在宅自己注射対象薬剤へ追加 (日本:11月)
- 尋常性乾癬治療剤ドボベツト<sup>®</sup>フォーム製造販売承認を取得 (日本:1月)

# Appendix

# 為替関連情報

## 期中平均為替レート

通貨	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想
米ドル (USD/円)	109円	107円	-2円	105円
英ポンド (GBP/円)	140円	137円	-3円	140円

## 2020年度 為替影響額

通貨	売上収益	コア営業利益
米ドル (USD/円)	-13億円	-7億円
英ポンド (GBP/円)	-11億円	-3億円

## 2021年度 為替感応度

通貨	変動	売上収益	コア営業利益
米ドル (USD/円)	1円高	-9億円	-5億円
英ポンド (GBP/円)	1円高	-4億円	-1億円

# 主なニューズフロー (2020年)

※ 2020年1月1日～2020年12月31日に発生したイベントを記載しています

時期	一般名	開発コード	適応症	国・地域	概要
1月	Istradefylline	KW-6002	パーキンソン病 <sup>1</sup>	欧	販売承認申請の受理
2月	Pegfilgrastim	KRN125	がん化学療法による発熱性好中球減少症	日	Phase 1 開始
2月	Burosumab	KRN23	腫瘍性骨軟化症	米	適応追加申請の受理・優先審査指定
5月	Zandelisib	ME-401	濾胞性リンパ腫およびその他のB細胞悪性腫瘍	米	Phase 1b データ発表 (ASCO)
6月	Tenapanor	KHK7791	血液透析施行中の高リン血症	日	Phase 2 データ発表 (ERA-EDTA)
6月	Burosumab	KRN23	腫瘍性骨軟化症	米	適応追加の承認
7月	Burosumab	KRN23	成人XLH	欧	CHMPより肯定的見解
9月	Burosumab	KRN23	成人XLH	欧	販売承認の取得
10月	Zandelisib	ME-401	低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫	日	Phase 2 開始
10月	-	KW-6356	パーキンソン病	日	Phase 2b 主要評価項目達成
10月	Tenapanor	KHK7791	血液透析施行中の高リン血症	日	Phase 2 データ発表 (ASN)
11月	Brodalumab	KHK4827	強直性脊椎炎および X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎	日	適応追加の承認

1: 申請した適応症はウェアリングオフ現象 (レボドパ製剤の薬効時間が短縮し、服用後数時間を経過するとその効果が消退する現象) を有する成人パーキンソン病患者におけるレボドパ含有製剤との併用療法

# 主なパイプラインの申請予定

2020年12月31日現在

一般名	開発コード	適応症	国・地域	2020 H1	2020 H2	2021 H1	2021 H2
Brodalumab	KHK4827	乾癬	中	★			
Brodalumab	KHK4827	乾癬	亜		★ <sup>4</sup>		
Brodalumab	KHK4827	強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎	日		★		
Brodalumab	KHK4827	関節症性乾癬	台	申請	★		
Burosumab <sup>1</sup>	KRN23	XLH (成人)	欧		★		
Burosumab	KRN23	XLH <sup>2</sup>	亜	★ <sup>3</sup>	申請 <sup>5</sup> / ★ <sup>6</sup>		
Burosumab <sup>1</sup>	KRN23	腫瘍性骨軟化症	米 欧 中	★	申請 <sup>7</sup>	申請 <sup>8</sup>	
Istradefylline	KW-6002	パーキンソン病	欧			★	
Romiplostim	AMG531	既存治療で効果不十分な再生不良性貧血	台		★		
Romiplostim	AMG531	ITP	中			★	
Darbepoietin alfa	KRN321	血液透析患者における腎性貧血	中	★			
Pegfilgrastim	KRN125	造血幹細胞の末梢血への動員	日			申請	
Pegfilgrastim	KRN125	がん化学療法による発熱性好中球減少症	日				申請 <sup>9</sup>
Bardoxolone methyl	RTA 402	アルポート症候群	日			申請	

1: Ultragenyx社との共同開発; 2: 韓国で承認された適応症はFGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症; 3: 香港;  
 4: マカオ、マレーシア; 5: オーストラリア; 6: 韓国、台湾、中国; 7: 中国; 8: 欧州; 9: 自動投与デバイス  
 日: 日本、米: 北米、欧: 欧州、亜: アジアパシフィック、台: 台湾、中: 中国

★ 当局による製造販売承認可否の判断が期待される時期  
 達成  
 予定

# 主なパイプラインの開発予定

2020年12月31日現在

一般名	開発コード	適応症	国・地域	2020	2021	2022	+
Bardoxolone methyl	RTA 402	糖尿病性腎臓病	日	Phase 3			
Bleselumab <sup>1</sup>	ASKP1240	腎移植患者における再発性FSGS	米	Phase 2		Phase 3	
Entinostat	KHK2375	乳癌	日	Phase 2			
Evocalcet	KHK7580	二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT)	亜	Phase 3			
-	KHK4083	アトピー性皮膚炎	日 米 欧	Phase 2		Phase 3	
-	KW-6356	パーキンソン病	日	Phase 2		Phase 3	
Tenapanor	KHK7791	血液透析施行中の高リン血症	日	Phase 2		Phase 3	
Zandelisib	ME-401	濾胞性リンパ腫 <sup>2</sup>	米 欧 他	Phase 2			
Zandelisib	ME-401	辺縁帯リンパ腫 <sup>2</sup>	米 欧 他			Phase 2	
Zandelisib	ME-401	濾胞性リンパ腫 <sup>3</sup> 、辺縁帯リンパ腫 <sup>3</sup>	日 米 欧 他			Phase 3	
Zandelisib	ME-401	低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫 <sup>2</sup>	日	FPI	Phase 2		
Antithrombin gamma	KW-3357	妊娠高血圧腎症	日	Phase 3			
Brodalumab	KHK4827	全身性強皮症	日	Phase 3			
Brodalumab	KHK4827	掌蹠膿疱症	日	Phase 3			
Mogamulizumab	KW-0761	HTLV-1関連脊髄症 (HAM)	日	Phase 3			
Pegfilgrastim	KRN125	造血幹細胞の末梢血への動員	日	Phase 2			
Romiplostim	AMG531	免疫抑制療法未治療の再生不良性貧血	日 亜	Phase 2/3			





# 推定罹患数または患者数

疾患	国/地域	推定罹患数 (i) または推定患者数 (p)	出典
ATL	Japan	i: 1,150 per year p: 2,000	i: 本邦におけるHTLV-1感染及び関連疾患の実態調査と総合対策 平成21年度総括研究報告書 (山口一成、平成22年3月) p: 厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
PTCL	Japan	p: 1,000	厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
CTCL	Japan	p: 2,000	厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
CTCL	U.S.	i: 1,500 per year	SEER Data (2001-2007)
XLH	Japan	p: 5,000 (adult), 1,000 (ped.)	本疾患の推定発症率 (20,000人に一人程度) に基づく概算; Nationwide survey of fibroblast growth factor 23 (FGF23)-related hypophosphatemic diseases in Japan: prevalence, biochemical data and treatment. (Endo I et al., Endocr J., 2015)
XLH	Europe	p: 12,000 (adult), 3,000 (ped.)	本疾患の推定発症率 (20,000人に一人程度) に基づく概算
XLH	U.S.	p: 12,000 (adult), 3,000 (ped.)	本疾患の推定発症率 (20,000人に一人程度) に基づく概算; New perspectives on the biology and treatment of X-linked hypophosphatemic rickets. (Carpenter TO, Pediatr Clin North Am., 1997)
TIO/ENS	Japan	p: 30 (TIO)	2010年 厚生労働省 ホルモン受容機構異常に関する疫学調査研究
TIO/ENS	U.S.	p: 500 - 1,000	Ultragenyx社調査
PD	Japan	p: 162,000	厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
PD	U.S.	p: more than 570,000	Decision Resources社調査
AD	U.S.	p: 9,000,000 - 17,000,000	Decision Resources社 および Global Data社調査
CKD	Japan	p: 13,300,000	日本腎臓学会編 CKD診療ガイド2012
AA	Japan	i: 1,000 per year	難病情報センターホームページ (2021年1月現在) から引用 <a href="http://www.nanbyou.or.jp/entry/106">http://www.nanbyou.or.jp/entry/106</a>
ITP	Japan	i: 3,000 per year; p: 20,000	難病情報センターホームページ (2021年1月現在) から引用 <a href="http://www.nanbyou.or.jp/entry/157">http://www.nanbyou.or.jp/entry/157</a>
HAM	Japan	i: 30 per year; p: 3,000 - 3,600	HTLV-1関連脊髄症 (HAM) 診療ガイドライン2019
FL	U.S.	i: 15,000 per year	Cancer.net (2021年1月現在) から引用 <a href="https://www.cancer.net/">https://www.cancer.net/</a>
FL	Japan	i: 6,750 per year	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん登録); Epidemiology of malignant lymphoma and recent progress in research on adult T-cell leukemia/lymphoma in Japan (Miyoshi H et al., Int J Hematol, 2018)
MZL	U.S.	i: 6,000 per year	Lymphoma.org (2021年1月現在) から引用 <a href="https://lymphoma.org/">https://lymphoma.org/</a>
MZL	Japan	i: 1,060 per year	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん登録); Epidemiology of malignant lymphoma and recent progress in research on adult T-cell leukemia/lymphoma in Japan (Miyoshi H et al., Int J Hematol, 2018)

# Crysvita ～ウルトラジェニクス社とのコラボレーション～

	協和キリングroup	ウルトラジェニクス
アメリカ ・カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売上計上</li> <li>● 上市后5年間、50/50の利益シェア</li> <li>● 上市后5年以降、20%台のロイヤルティ支払い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上市后5年間、50/50の利益シェア</li> <li>● 上市后5年以降、20%台のロイヤルティ受け取り</li> </ul>
ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売上計上</li> <li>● 10%以下のロイヤルティ支払い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10%以下のロイヤルティ受け取り</li> </ul>
メキシコ ・中南米	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1桁台前半のロイヤルティ受け取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売上計上</li> <li>● 1桁台前半のロイヤルティ支払い</li> </ul>
トルコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 20%以下のロイヤルティ受け取り</li> <li>● 将来、販売権を引き継ぐオプションあり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売上計上</li> <li>● 20%以下のロイヤルティ支払い</li> </ul>
日本・アジア ・その他地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売上計上</li> </ul>	

※全地域において、製品の製造は協和キリンが行う。

# 略語集

AA	Aplastic Anemia	再生不良性貧血
AD	Atopic Dermatitis	アトピー性皮膚炎
AG	Authorized Generic	オーソライズド・ジェネリック
ATL	Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma	成人T細胞白血病リンパ腫
BS	Biosimilar	バイオ後続品
CKD	Chronic Kidney Disease	慢性腎臓病
CKD-MBD	Chronic Kidney Disease-Mineral and Bone Disorder	慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常
DKD	Diabetic Kidney Disease	糖尿病性腎臓病
ENS	Epidermal Nevus Syndrome	表皮母斑症候群
FL	Follicular Lymphoma	濾胞性リンパ腫
FSGS	Focal Segmental Glomerulosclerosis	巣状分節性糸球体硬化症
HAM	HTLV-1 Associated Myelopathy	HTLV-1関連脊髄症
ITP	Idiopathic Thrombocytopenic Purpura	特発性血小板減少性紫斑病
MBD	Mineral and Bone Disorder	骨ミネラル代謝異常
MZL	Marginal Zone Lymphoma	辺縁帯リンパ腫
PD	Parkinson's Disease	パーキンソン病
PHPT	Primary Hyperparathyroidism	原発性副甲状腺機能亢進症
PTCL	Peripheral T-Cell Lymphoma	末梢性T細胞リンパ腫
SHPT	Secondary Hyperparathyroidism	二次性副甲状腺機能亢進症
TIO	Tumor Induced Osteomalacia	腫瘍性骨軟化症
XLH	X-linked Hypophosphatemia	X染色体連鎖性低リン血症



～本資料のお問合せ先～

協和キリン株式会社  
コーポレートコミュニケーション部 IRグループ  
03-5205-7206 / [ir@kyowakirin.com](mailto:ir@kyowakirin.com)